

# 財産の現況

昭41.7.30 現在

## 一般会計

### 1. 土地及び建物

区分	土地面積	建築物面積			立木材積
		木造	非木造	計	
公用財産	318 <sup>m<sup>2</sup></sup>	767 <sup>m<sup>2</sup></sup>	— <sup>m<sup>2</sup></sup>	767 <sup>m<sup>2</sup></sup>	— <sup>m<sup>3</sup></sup>
公用財産	71.613	14.276	4.487	18.763	—
普通財産	5.957	2.662	—	2.662	—
山の他	3.471.745	—	—	—	6.124
その他	47.095	—	—	—	—
計	3.596.728	17.705	4.487	22.192	6.124

### 2. 有価証券

区分	現在高
株式会社新潟放送	90千円
割引電信電話債券	120
電信電話債券	50
計	260

### 3. 出資による権利

区分	現在高
新潟県農業信用基金協会出資金	440千円
新潟県信用保証協会出資金	22
森林国営保険証書	9
新潟県畜産物価格安定基金協会出資金	100
西蒲原郡町村金融庫出資金	300
計	871

### 4. 物品(主なるもの)

区分	現有台数
乗用車	1台
消防自動車	2
ブルドーザー	1
小型トラック(2t)	1

### 5. 積立金

区分	現在高
定期積立金	383千円

## 特別会計

### 一 広域簡易水道 (1)土地及び建物

区分	土地面積	建築物面積		
		木造	非木造	計
公用財産	1.812 <sup>m<sup>2</sup></sup>	134 <sup>m<sup>2</sup></sup>	133 <sup>m<sup>2</sup></sup>	267 <sup>m<sup>2</sup></sup>

### (2)有価証券

区分	現在高
割引電信電話債券	100千円

### (3)物品

区分	現有台数
小型貨物自動車	1台

### 二 間瀬簡易水道 (1)土地及び建物

区分	土地面積	建築物面積		
		木造	非木造	計
公用財産	109 <sup>m<sup>2</sup></sup>	—	10 <sup>m<sup>2</sup></sup>	10 <sup>m<sup>2</sup></sup>

### 三 国民健康保険 (1)出資による権利

区分	現在高
新潟県国民健康保険融資金庫預託金	330千円

### 四 農業共済 (1)物品

区分	現有台数
テラ	1台

### (2)積立金

区分	現在高
農作物関係積立金	2.006千円

### 五 岩室温泉集中加熱 (1)土地及び建物

区分	土地面積	建築物面積		
		木造	非木造	計
公用財産	1.235 <sup>m<sup>2</sup></sup>	92 <sup>m<sup>2</sup></sup>	82 <sup>m<sup>2</sup></sup>	174 <sup>m<sup>2</sup></sup>

昭和41年度

## 村税の住民負担状況

昭41.7.30 現在

区分	課税額	収入済額	収入率	一世帯当り額	一人当り課税額
村民税	13,470千円	3,335千円	25%	6,638円	1,371円
個人	12,874	2,778	22	6,364	1,310
法人	596	557	93	294	61
固定資産税	18,450	7,276	39	9,120	1,878
土地,家屋,資産	17,65	6,591	37	8,781	1,808
交付金,納付金	685	685	100	339	70
その他	4,488	4,438	99	2,219	457
合計	36,408	15,049	41	17,997	3,706

昭和41年度

## 一時借入金の状況

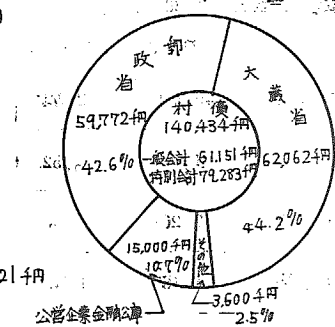
昭41.7.30 現在

会計区分	借入先	借入		返済		
		借入月日	借入額	利率	返済月日	返済額
一般会計	大蔵省資金運用部	41.7.30	20,000千円	日歩1銭8厘	予定41.10.29	0
特別会計	—	—	—	—	—	—

## 村債の現状

昭41.7.30 現在

用途	0	1	2	3	4	5	6
一般会計							
教育債					25.7%	40,460千円	
農林水産業債	4.6%					6,459千円	
土木債	2.6%					3,711千円	
減税補て債					7.5%	10,521千円	
特別会計							
間瀬簡易水道債					2.2%	3,125千円	
広域簡易水道債						3,670千円	51,521千円
温泉集中加熱債					1.7%	24,637千円	



希望の本があったらどうぞ  
○本の名  
○発行所  
氏名住所

一般会計における村債高の最も著しいものは教育債ですが、その主たるものは昭和39年度より着工した統合岩室中学校建築事業で、その占める比率は教育債の84.4%で現債高37,469千円となっています。尚昭和41年度事業として14,000千円の借入が予定されていますので更に高い比率となるわけであり、残る15.6%に相当するものは昭和27年~31年までに建築した旧岩中、旧和中、旧間中の借入れ分であり、  
減税補て債は、国の減税措置から生ずる村税の減収を補てんするための借入れであり、法律によってなされるものであります。借入れは、減税措置が行なわれた昭和39年度から13年度まで予め定められた金額を毎年借入れ、財政の補充を図るわけ、この返済財源は全額国が負担することになっています。  
農林水産業債は、間瀬簡易水道修築事業として借入れたもので、昭和28年~昭和36年までのものであります。土木債は、和納地内の西川に架設した朝日橋、原栄橋及びブルドーザー購入のため借入れたものであります。